

# 巡回健診 甲状腺エコーマニュアル

## ① 所見が無い場合

指定の画像（別紙参照）を残す。  
腫大、委縮が無ければ計測も不要です。

## ② 有所見時の写真の撮り方

### ・び漫性変化

以下の項目がわかるように写真を残す。  
大きさ（計測値） 辺縁の性状 内部エコー 実質の血流の有無

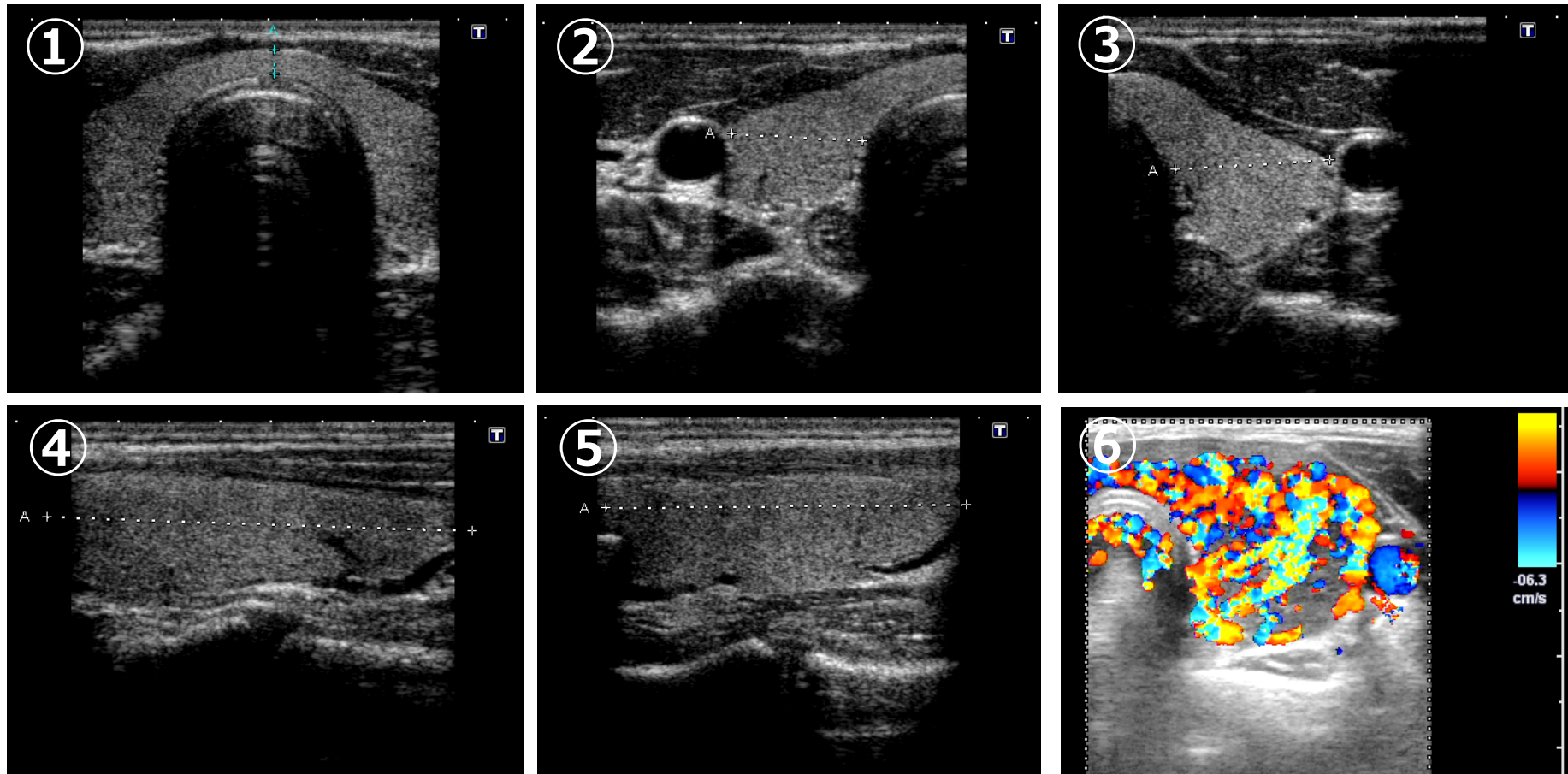
### ・結節性病変の撮り方

大きさ、境界、辺縁の形状、内部エコー、血流の有無を判断し写真に残す。  
同じ種類のものが複数ある場合は、一番大きいものを測定してください。  
悪性を疑うような所見、甲状腺外に突出するような結節に関しては周囲臓器への転移、浸潤も確認するようにして下さい。

### ・その他、頸部所見（リンパ節腫大、頸動脈病変、耳下腺、顎下線など）

要治療・精査が必要と思われるものでない限りは報告しなくて構いません。

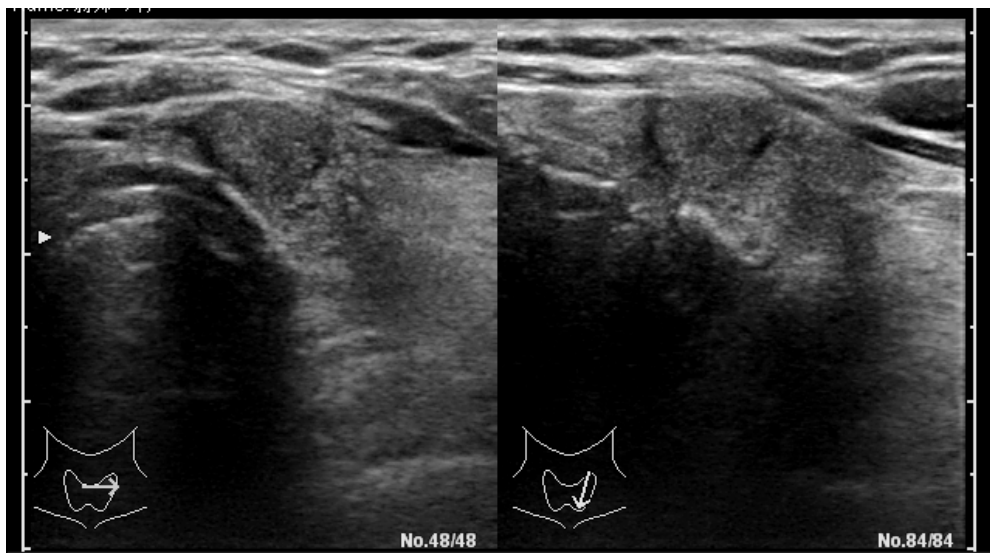
# 甲状腺エコーー 正常画像の残し方



所見が無い場合、上記①～⑤の写真を残すこと。計測も必要ありません。

腫大や委縮があった場合には、上記のポイントで大きさを計測してください。  
び漫性の変化があった場合のみ、⑥の血流の有無を追加してください。

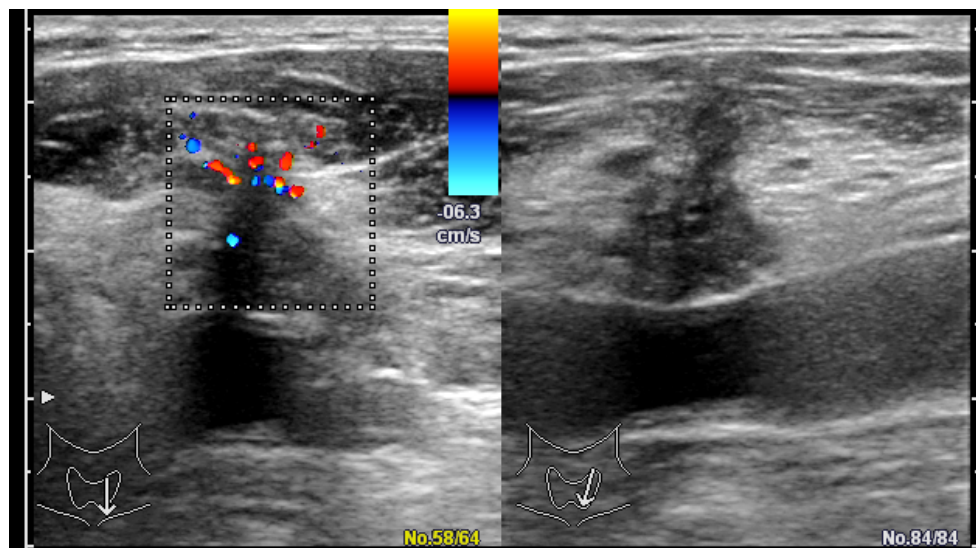
# 甲状腺エコー 結節性病変の残し方



計測は、結節の最大径のみで構いません。  
(縦、横、深さなど不要)

大きさ、境界、辺縁の形状、内部エコー、  
血流の有無などを確認し、写真を残して  
ください。

悪性を示唆するような結節の場合は、  
他臓器への浸潤や転移を確認してく  
ださい。

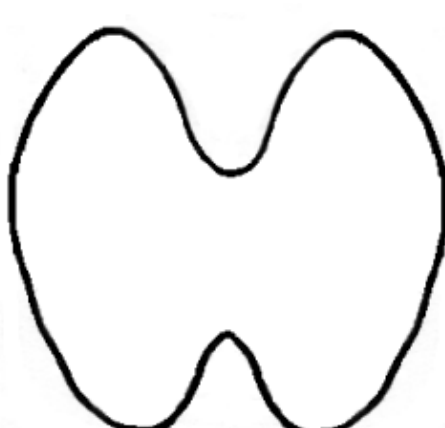


# 甲状腺超音波検査 所見用紙

受診日	受診番号	氏名	性別	年齢
年 月 日			男 女	歳

## 〔 所 見 〕

部位				所見											大きさ			
1	2	3	4	A	B	D	E	F	G	H	K	L	M	N	5	10	15	16
右葉	左葉	両葉	峡部	嚢胞	腫大	石灰化	占拠性病変	内部不均一	内部粗雑	辺縁不整	摘除	その他	血流増加	萎縮	5 mm 以下	6 5 10 mm	11 5 15 mm	16 mm 以上

	担当
診断	判定医

No.	判定			コメント
	A	B	C	
	D	E	F	
部位	所見	大きさ	診断名	
二次・追跡				

入力者	確認